

●クマゲラ

Dryocopus martius

今年の冬、旭山動物園の上空を通過

し旭山の森へ消えていくのを目撃しました。鳥獣保護区になっているこの森がエゾライチョウ、エゾクロウ、エゾリスなど多くの動物が安心して暮らせる“楽園”になってくれたら、いつかクマゲラが帰ってきてくれる日がくるかも知れません。

春早くから初夏にかけて北海道の森は大いそがしです。木や草や花がいっせいに芽吹き、成長し、鳥や獣たちは子を産み育てます。まさに“^{いのちが}生命駆け”です

そして今、短いほんのひとときの盛夏。森は妙に静かです。あの騒々しくて、楽しそうで、走り、飛び回っていた彼等はどこに隠れてしまったのでしょうか。キツツキたちの木を叩くドラミングの音もう聞こえてきません。

●目次

- 2,3 肉食動物その2
イヌの仲間
- 4,5 特集—森のドラマー
キツツキ
- 6 動物園界の話題
獣医室から
ポストコーナー
- 7 飼育研究レポート
キツツキの飼育
- 8 動物園日誌
お知らせ

JUL. 1988

13

NO.

★モユク・カムイ
(アイヌ語でエゾタヌキのことです。)

モユク・カムイ



旭山 どうぶつえん ニュース

特集 イヌ 肉食動物 第2回目です

イヌ科の動物たちはネコ科のものとならんで肉食動物の代表的なグループです。しかし、体の作りや習性など随分と違ったところがたくさんあります。イヌ科：10属35種に分類され代表的なものにオオカミ、キツネ、コヨーテ等がいます。これらの中でイヌ属に属するオオカミは特に社会性が強い動物です。

オオカミ

目：あまり良くない
色（色覚）はほとんど判らない
乱視で近眼といったところ。

歯

：唯一の武器
獲物の柔らかいところを食い破り
内臓を引き出して殺す。

肉食動物に特有の歯で
肉を噛み切るのに使う

鼻（嗅覚）

：においには敏感
獲物を発見するのは
においから

声

：コミュニケーション
遠吠えを始め、たくさん
のなきごえを使う

尾

：感情を表したり、
群れの中での地位を
表す。

爪

：スパイク
ネコのように爪を出し入れできない
冬タイヤのスパイクと同じ役目。

足

：長距離を走るのに有利な長い四肢
群れて獲物を追い詰めて、
疲れさせてから捕まえる。
ネコのように待ち伏せはしない。

日本のイヌ科動物

エゾオオカミ（絶滅種）

Canis lupus hattai

大型で大陸のオオカミの一亜種
とされている。1900年頃に絶滅



キツネ

Vulpes vulpes

北半球に広く分布するアカキツネ
の亜種である。

キタキツネ *V. v. schrencki*

ホンドキツネ *V. v. japonica*

ホンドキツネは乳頭の数などで独
立した種とする考えもある。

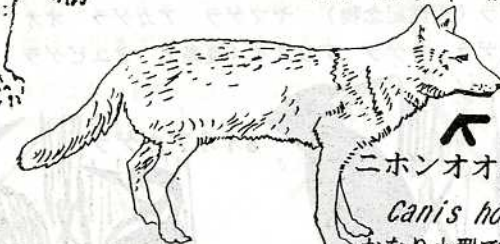
タヌキ

Nyctereutes procyonoides

東アジアの特産でイヌ科の中では
原始的な形態を残している。

エゾタヌキ *N. p. albus*

ホンドタヌキ *N. p. viverrinus*



ニホンオオカミ（絶滅種）

Canis hodophilax

かなり小型で、イヌ科の中でも
原始的な特徴を残していたらし
い。1905年、絶滅

“なぜ”

エゾオオカミは絶滅したのか!?

北海道にもかつてオオカミが住んでいました。しかし、明治29（1896）年の記録を最後にその姿を消してしまいました。もっと大きなヒグマが現在も生き残っているのに、なぜオオカミは絶滅してしまったのでしょうか？



オオカミは群れを作って
自分より大きなエゾシカ
を主食としていました。



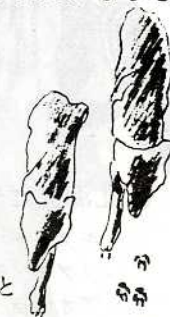
オオカミは冬も活動し群れて
行動するため、猟師にとっ
ても狩猟効率がよく、徹
底的に狩りつくされました。



北海道が開拓されエゾシカ
が大量に殺戮されたため、
オオカミは家畜を襲うよう
になりました。



生き残ったオオカミも少数
では獲物を捕ることができ
ず、死んでしまいました。



このようにして、主食であるエゾシカの激減、人間による急激な狩猟が、北海道という限られた地域に生存していたエゾオオカミを絶滅させたのです。
絶滅したオオカミ側の要因は、肉しか食べないという食性の狭さと群れ生活にあっ
たとされています。



森のドラム『キツツキ』

日本にはキツツキの仲間が11種類います。

北海道にはそのうち8種類が生息しています。

キツツキといえば、何といてもドラムを叩くように木を叩く音を思い浮かべると
 思います。キツツキは木の中に住む昆虫の幼虫やシロアリを食べるることができるよ
 うに進化(特殊化)した鳥です。



食べる

•長い舌は後頭部にぐりりと
 回って納められています。

•キツツキの仲間とはとても長い舌で深い木の
 裂け目やアリのつくったトンネルの中にある
 ムシを引っ掛けて引きずり出して食べます。

•舌にはムシを引っ掛けるように小さな
 トゲがたくさん付いています

•木に穴をあけ、
 中にあるアリ等を食べる

•木の幹に止まるため、指が前方に2本、
 後方に2本向いている

木をつつくため強い筋肉を持つ

ドラミング

餌を探して木をつつくときは別に音の響く
 木を探してトトト...と連打します。
 これはキツツキ同志のコミュニケーションで、
 繁殖期になるとよく聞かれます。

旭山動物園で飼育している

キツツキ

オオアカゲラ

アカゲラより大きく、
 胸に黒い縦縞がある。

オス：額から後頭部まで赤い
 メス：後頭部だけ赤い

クマゲラ

メス：後頭部だけ赤い

アカゲラ

オス：後頭部が赤い
 メス：赤い部分がない

(ヒナはオスもメスも頭頂全体が赤い)

巣づくり

•巣は木の幹につくる
 木の幹に自分で穴を掘ってつくります。
 キツツキのつくった巣穴はフクロウや
 ゴジュウカラなども巣として使います。

•体を支えるため、尾羽は特に
 強いつくりになっています。



•アリスイ(夏鳥)

北海道に分布するもの

クマゲラ(天然記念物) ヤマゲラ アカゲラ オオアカゲラ
 コアカゲラ コゲラ アリスイ(夏鳥) ミユビゲラ

•クマゲラ

•オオアカゲラ

•アカゲラ

•コアカゲラ

•コゲラ

•ミユビゲラ

●北海道に分布しないもの

•キタタキ
 •ノグチゲラ
 •アオゲラ

動物園界の話題



動物園の役割にはレクリエーション、社会教育、野生動物の保護、動物学の研究があるといわれています。それらの中で最近特に重要視されてきたのが動物園の果たす社会教育的役割です。

動物園と環境教育



動物園には生まれて間もない赤ちゃんから幼稚園や小学校の子供たち、学生、おじいさん、おばあさんまでじつに幅広い世代の方たちがたくさんやってきます。それぞれに動物園にくる目的が違っていると思いますが、それぞれの目的に合わせた教育ができる可能性を動物園は持っています。それらの中で特に環境について具体的に学ぶことの出来るところが動物園です。動物園に展示されている多くの動物たちを通してそれらの動物の生息している自然環境を知ることができます。環境問題を地球規模で考えることができるわけです。われわれも動物だけを展示するのではなくそれらの環境も含めて展示して行かなければならないと考えています。

今年春から動物の急死が続きました。中でもチンパンジーやシロテテナガザルなどは気がついたときにはもう手の施しようがありませんでした。今回の例は別として、動物園では、気のついたときには既に重症となっている場合をよく経験します。これは飼育係や獣医師がサボっているわけではなく動物たちが他の動物に対して自分の弱みを見せまいとする、いわば本能によるところが多いと思います。弱肉強食の世界では弱いものから先に食べられてしまいます。ですからぎりぎりの状態になるまで平然として我慢しています。

イヌやネコなどの家畜は長い年月を経て人間に甘え、依存して生きようになったものです。例えまい獣舎の中でも動物園の動物には野生の血が流れているのです。

獣医室から

弱みを見せない



ポストコーナー

動物園あてのお手紙がたくさん来っています。励ましのお便りや貴重な御意見など、私たちにとてもうれしいものばかりです。

7月18日の日曜、見学をさせていただきありがとうございました。旭山動物園見学におもしろかったことは、いろいろな動物を観ることができたこと、ほくたけは、動物がすきなので、とても楽しく見学をすることができました。いんげん豆をたべたことはなかった動物がかわいかったことです。

7月24日にぼくたちの学校では運動会がありました。かんぱんたいと思います。

旭山動物園のみなさんへ

美濃市立大郷小学校 一年生 田中



これは、私がそなたでたてまわりのたねです。1から1742このたねをばりました。

これを、りすにあげて下さい。

山平市立大郷小学校 四年 佐藤 美香

63年5月15日の、おひまふんのりすんのことを読みました。わたしは、伊勢原小学校であつてまわりのたねをりすんにあげて下さい。

わたしは、伊勢原小学校のりすんです。

夏休みに旭山動物園に行き、りすんに会いたいです。また、まわりのたねをあつめることができれば、あつめます。

りすんによろしくいって下さい。

63年5月15日

伊勢原市立伊勢原小学校 三年 小澤 あかね

伊勢原市立伊勢原小学校 三年 小澤 あかね

旭山ZOOの記録 飼育研究レポート



キツツキの飼育について



キツツキの仲間は北海道に7種分布していますが、旭川周辺でよく繁殖しているのはアカゲラです。動物園の周辺や公園の木にも営巣しています。天然記念物のクマゲラも以前は動物園の近くで繁殖していたそうです。

旭山動物園にはよくキツツキが保護収容されますが、展示はしていませんでした。今年から道産動物コーナーの一角で、キツツキの展示を始めました。展示しているのはアカゲラ3羽（オス2、メス1）とクマゲラ1羽（メス）です。それに居候としてホシガラスが1羽同居しています。クマゲラを飼育展示しているのはおそらく日本で旭山動物園だけではないでしょうか。

キツツキの仲間はカミキリなどの甲虫の幼虫を主食としているので、なかなか飼育が難しい鳥の一つですが、当園では九官鳥の餌で餌付けをし長期的な飼育に成功しています。現在給与している餌は、リンゴ、マイナーフードとペット用の餌として市販されているミルワーム（チャイロコメノゴミムシダマシの幼虫）を与えています。冬期間には、牛の脂身も与えますが好んで食べています。

キツツキの仲間はその名のとおりの木をつつく習性がありますが、つつく木にも好みがあるようでカシワやエゾマツは一週間ほどですっかり樹皮を剥いてしましますが、シラカバの木はあまり好きでないので飼育舎に置いてから3ヶ月たった今でもまだ樹皮が残っています。毎日の木屑の掃除は大変ですが、心ゆくまで木をつつかせて、そのうち自分で巣をほり繁殖してくれることを願っています。（牧田）



動物園日誌

《昭 63.4.8 ~ 63.7.15》

4.11 シベリアオオヤマネコ

札幌市円山動物園より贈られる

4.17 チンパンジー「ゴクウ」死亡

4.19 ヒドリガモ、コガモなど8羽入園

4.21 ワビチ(オス)入園

4.24 ボンネットモンキー 出産

アカゲザル 4,5月で7頭出産

4.25 オオタカ 産卵開始

4.29 昭和63年度旭山動物園開園

オープンバレード 旭川第七小学校

動物資料展示館特別展

『動物園の台所 Part II』

動物ぬりえ募集(〜6.30)

児童動物画コンクール作品募集(8.20)

動物の愛称募集 シベリアオオヤマネコ

カビバラ、オセロット (5.31)

5.5 HBCラジオ公開生放送

5.8 ワンポイント・ガイド 始まる。

5.10 ラクダ舎の立ち木保護の金網つけかえ

5.14 コクチョウ 死亡

5.16 ゴリラ 風邪 (5.26)

旭川第一中学 飼育実習

5.28 Zoo ガイド 愛豊保育園〇×クイズ

5.31 チンパンジー 風邪 (〜6.4)

6.5 ワビチ 出産

6.7 教育大学付属中学 飼育実習

旭川医科大学 生物学実習 (6.9)

6.8 エゾシカ 出産 (6.9)

オオタカ、エミュー 孵化

6.9 旭山動物園飼育研究会

「クマゲラの野外観察」阿部

6.11 シロテテナガザル 出産

6.12 旭山動物園ウォーク・ラリー

6.16 Zoo ガイド 滝川市美術自然史館

シレニア会

6.21 シロテテナガザル「アカベエ」死亡

6.24 Zoo ガイド 江部乙中学PTA

6.27 キリン「タミコ」死亡

6.28 Zoo ガイド 新町小学校1年生

6.29 母と子のふれあい講座 西神楽公民館

6.30 日本動物園水族館協会北海道ブロック

〜7.11 飼育技術者研究会 於：旭山動物園

『カビバラの繁殖について』牧田

『オオタカの繁殖について』坂野

『青刈り牧草の利用状況』辻栄

7.9 Zoo ガイド 西神楽小学校PT

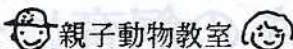
7.11 Zoo ガイド 名寄市特殊学級

7.14 旭山動物園飼育研究会

「エゾヒグマの繁殖計画」辻栄

夏休み 動物園で お勉強。

自由研究、作品制作に最適です。



★夜の動物園

8月5日〜7日

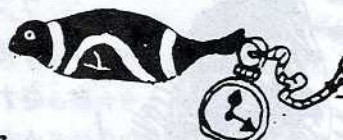
12日〜16日

動物観察には夜が最高!

動物資料展示館 パネル展

8月初旬 サマースクール展

9月中旬 冬への準備



ワンポイント・ガイド

毎週日曜日の11時

動物のお話し会があります。

動物舎の前で飼育担当者がとっておきの話を聞かせてくれます。

ワンポイント・ガイド

8.21 キリン

8.28 サル

9.4 エミュー

9.11 シベリアヒョウ

9.18 ワシ・フクロウ

9.23 ゴリラ

9.25 ユキウサギ

10.2 ワニ・カメ

10.9 チンパンジー

10.10 エゾリス

10.16 オオカミ



●ウォーク・ラリー

9月15日

10月15日

問題を解いて動物園をひとまわり

今度こそ“全問正解”を

目指してください。

★モユク・カムイ発行

No.14 10月中旬

No.15 12月中旬



旭山動物園ニュースです。
60円切手を同封して
お申し込み下さい

飼育動物数

(6月30日現在)

哺乳類 42種 298点

鳥類 76種 397点

爬虫類 4種 21点

合計 122種 716点



モユク・カムイ

No. 13



昭和63年 7月22日

発行所 旭川市旭山動物園

発行人 菅野 浩

☎ 078 旭川市旭山動物園 ☎ 0166(36)1104

編集委員 小菅正夫 阿部 寛 坂東 元